PHILIPS

サウンドバー

5000 シリーズ

取扱説明書

TAB5309/11

製品を登録し、サポートを受けるために、以下にアクセスしてください。

www.philips.com/support

目次

1 安全に関する重要注意事項 3
安全性 3
製品のお手入れ 5
環境への配慮 5
適合性宣言 5
ヘルプとサポート 5

2 サウンドバー 6
パッケージ内容 6
サウンドバー 6
コネクター 7
ワイヤレスサブウーファー 8
リモコン 8
リモコンの準備 9
壁面取り付け 10
設置 10

3 接続 11
HDMI ARC への接続 11
光学系への接続 12
オーディオ入力への接続 12
電源への接続 12
サブウーファーとのペアリング 13

4 サウンドバーの使用 14
アプリのダウンロード 14
電源のオン／オフ 14
モードの選択 14
音量の調整 15
イコライザー（EQ）効果の選択 15
LED 表示のオン／オフインジケーター 16
DTS Virtual X 16
自動音量調整 16
Bluetooth 機器から再生 16
外部機器での再生 17
USB を使用したオーディオの再生 18
工場出荷時の状態にリセット 18

5 製品仕様 19

6 トラブルシューティング 20

7 商標 22

8 保証書 23

1 安全に関する重要注意事項

本製品をご利用になる前に、全ての注意事項をよくお読みの上、正しくお使い下さい。注意事項に反した使用法で損傷等が発生した場合には保証は適用されませんので、ご了承ください。

安全性

安全記号について

マーキング情報は、製品の下部または背面にあります。

	注意	
	感電の危険があります 開けないでください	
注意:感電の危険を減らすため、カバー（または背面）は絶対に取り外さないでください。内部にはユーザーが修理できる部品はありません。修理は資格を持つサービス担当者に依頼してください。		

これは二重絶縁を備えたクラス II 装置です。ただし保護接地は備えていません。

AC 電圧

この記号は DC 電圧を示します。

取扱説明書の指示に従ってください！

警告！
感電：感電の危険性があります。

警告：この表示を守らないと火災・感電などにより死亡や大けがなどの人身事故にの原因となります。

* 付属の電源ケーブルは本製品専用になります。他の製品には使用できません。

電波について

2.4 FH 1

この無線機器は 2.4GHz 帯を使用します。変調方式として FH-SS 変調方式を採用し、与干渉距離は 10m です。

この機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、第二世代小電力データ通信システム、移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1 この機器を使用する前に、近くで第二世代小電力データ通信システム、移動体識別用の構内無線局 および特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。

2 万一、この機器から別の移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合 には、速やかに本製品の電源をお切りください。

3 その他、この機器から第二世代小電力データ通信システム、移動体識別用の特定小電力無線局ま たはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合やご不明な点がございましたら 当社カスタマーサービスまでお問い合わせください。

感電や火災の危険があります！

- 接続を開始または変更する前に、すべての機器が電源コンセントから外されていることを確認してください。
- 本製品および付属品を水などにさらさないでください。液体が入った容器を本製品の近くに置かないでください。液体が本製品の上にこぼれたり、内部に侵入した場合は直ちに電源コンセントを抜いてください。本製品の使用前に点検を受けるには、お客様情報センターにお問い合わせください。

- 本製品および付属品は、裸火やその他の熱源（直射日光を含む）の近くに置かないでください。
- 本製品の換気口やその他の開口部に物を挿入しないでください。
- 主電源プラグまたは電源接続器を切断装置として使用する場合、切断装置はすぐに操作できる状態にしておく必要があります。
- 電池（取り付けた電池パックまたは電池）は、直射日光や炎などの高温になる熱にさらさないでください。
- 雷が発生しそうな場合はその前に、本製品の電源コードをコンセントから抜いてください。
- 電源コードを抜くときには、必ずプラグを掴んで引き抜き、絶対にケーブルを引っ張らないでください。
- 本製品は熱帯または温暖な気候の地域で使用してください。

ショートや火災の危険があります！

- 識別番号および電源供給定格については、製品の背面または下部にある型式プレートを参照してください。
- 本製品を電源コンセントに接続する前に、電源電圧が製品の背面または底面に印刷されている値と一致していることを確認してください。電圧が異なる場合は、本製品を電源コンセントに接続しないでください。

負傷したり本製品を損傷したりするおそれがあります！

- 本製品を壁面に取り付ける場合は、設置説明書に従って壁にしっかりと固定してください。付属の壁面取り付けブラケットのみを使用してください（使用可能な場合）。不適切な壁面への取り付けは、事故、負傷、または損傷の原因となる可能性があります。お問い合わせについては、お住まいの国のお客様情報センターにお問い合わせください。
- 本製品や物を電源コードの上、または他の電気機器の上に置かないでください。
- 本製品が 5°C 未満の気温で輸送されてきた場合は、製品を開梱して製品が室温と同じ温度になるのを待ってから電源コンセントに接続してください。
- 本製品にはガラス製の部品が使用されている場合があります。負傷や損傷を防ぐため、十分注意して取り扱ってください。

オーバーヒートの危険があります！

- 本製品は絶対に閉鎖空間内に設置しないでください。換気のため、製品の周囲には必ず 10 cm（4 インチ）以上の隙間を空けてください。カーテンやその他の物によって本製品の換気スロットが覆われないようにしてください。

電池の使用に関する注意

- 注意：正しくない電池交換をした場合、爆発する恐れがあります。同じまたは同等タイプの電池と交換してください。
- 電池が消耗している場合、またはリモコンを長時間使用しない場合は、電池を取り外してください。
- 電池には化学物質が含まれています。リサイクルまたは廃棄については、国や地域のガイドラインに従ってください。
- 装置に記されている「+」および「-」のマークに従って、すべての電池を正しく取り付けてください。
- 古い電池と新しい電池を混ぜて使用しないでください。
- アルカリ電池、標準電池（カーボン亜鉛電池）、または充電式電池（Ni-Cd、Ni-MH など）を混ぜて使用しないでください。
- 電池（電池または電池パック）は、直射日光や炎などの高温になる熱にさらさないでください。
- 電池を廃棄するときには、燃やしたり焼却炉で処理したり、機械的に潰したり切断したりしないでください。
- 電池を極端に低い気圧下で管理しないようにしてください。

注意

- 定格ラベルは、機器の下部または背面に貼り付けられています。

製品のお手入れ

本製品のクリーニングにはマイクロファイバークロスのみを使用してください。

環境への配慮

古くなった製品と電池の廃棄

本製品は、リサイクルと再利用が可能な高品質の素材とコンポーネントを使用して設計および製造されています。

製品のこの記号は、製品が欧州指令 2012/19/EU の対象となっていることを意味します。

この記号は、本製品に欧州指令 2013/56/EU の対象となる電池が含まれており、通常の家庭ごみと一緒に廃棄できないことを意味します。

電気／電子製品および電池の廃棄については、地域の分別収集システムをお調べください。地域の規則に従い、本製品や電池を通常の家庭ごみと一緒に廃棄しないでください。古い製品や電池を適切に廃棄することで、環境や人の健康に悪影響が及ばないようにすることができます。

使い捨て電池の取り外し

使い捨て電池を取り外すには、電池の取り付けに関するセクションを参照してください。

適合性宣言

本製品は、欧州共同体（EC）の無線干渉要件に準拠しています。

TP Vision Europe B.V. は、本製品が RED 指令 2014/53/EU および英国の無線機器規制 SI 2017 No 1206 の必須要件およびその他の関連条項に準拠していることを宣言します。適合宣言については、以下でご覧いただくことができます。
www.philips.com/support

ヘルプとサポート

こちらのリンクにアクセスして頂くと、下記項目のオンラインサポートを受けることができます。
www.philips.com/support

- 取扱説明書とクイックスタートガイドをダウンロードする
- ビデオチュートリアルを視聴する（一部のモデルでのみ利用可能）
- よくある質問（FAQ）から回答を探す
- 質問をメールで送信する
- サポート担当者とチャットする

Web サイトの指示に従って言語を選択し、製品のモデル番号を入力します。

お住まいの国のお客様情報センターにお問い合わせいただくこともできます。お問い合わせいただく前に、製品のモデル番号とシリアル番号を書き留めておいてください。その情報は、製品の背面または下部にあります。

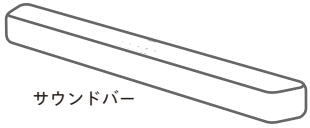
2 サウンドバー

フィリップス製品をご購入いただきありがとうございます。フィリップスが提供するサポートを最大限に活用していただくために、ご購入のサウンドバーを以下でご登録ください。
www.philips.com/support

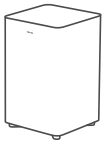
パッケージ内容

パッケージに以下の品目が含まれていることを確認してください。

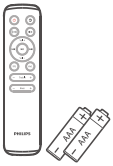
- サウンドバー × 1
- ワイヤレスサブウーファー × 1
- リモコン × 1
  （単 4 形電池 × 2）
- 電源コード（サウンドバー用） × 1
- 電源コード（サブウーファー用） × 1
- 壁面取り付けキット × 1
- 取扱説明書 × 1



壁面取り付けキット
（ブラケット × 2 ／
ブラケットネジ × 4 ／
ガムカバー × 4）



ワイヤレスサブウーファー



リモコン
（単 4 形電池 × 2）

取扱説明書

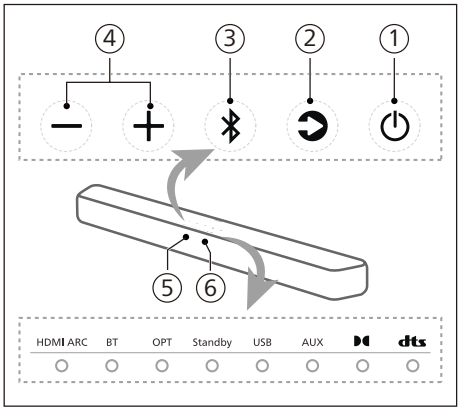
電源コード × 2

- 電源コードの数とプラグのタイプは地域によって異なります。
- 本取扱説明書に記載されている画像および図は、あくまで参考であり、実際の製品の外観は異なる場合があります。

* 付属の電源ケーブルは本製品専用になります。他の製品には使用できません。

サウンドバー

このセクションでは、サウンドバーの概要について説明します。



① ⏻（スタンバイ - オン）
- サウンドバーの電源をオン・スタンバイ状態にします。
- 電源オン状態で 8 秒間長押しすると、自動スタンバイ（15 分経過後に自動的にスタンバイ状態になる）が有効または無効になります。

② （ソース）ボタン
サウンドバーの入力ソースを選択します。

③ （Bluetooth）ボタン
- Bluetooth モードを選択するときに押します。
- 3 秒間長押しすると、Bluetooth ペアリングモードになります。

- 8 秒間長押しすると、すべての機器が切断され、BT 接続履歴リストがクリアされ、ペアリングモードになります。

④ **＋／－（音量）ボタン**

音量を調節します。

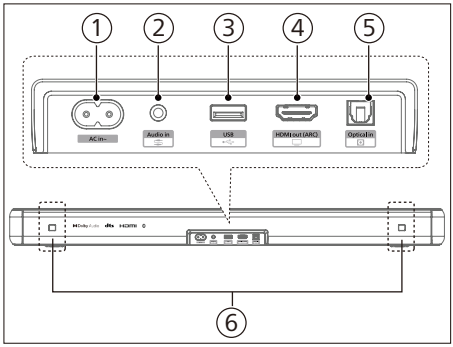
⑤ **リモコンセンサー**

⑥ **サウンドバーの LED インジケーター**

LED の状態		ステータス
HDMI ARC	点灯（ホワイト）	HDMI ARC モード
BT	点灯（ブルー） 点灯（ホワイト）	Bluetooth（クラシック）モード Bluetooth（LE Audio）モード
OPT	点灯（ホワイト）	光学モード
Standby	点灯（レッド）	スタンバイモード
USB	点灯（ホワイト）	USB モード
AUX	点灯（ホワイト）	AUX モード
DD	点灯（ホワイト）	Dolby Audio
dts	点灯（ホワイト）	DTS Audio

コネクター

このセクションでは、サウンドバーで使用できるコネクターの概要について説明します。



① **AC 入力～ソケット**

電源に接続します。

② **Audio in（オーディオ入力）**

MP3 プレーヤー（3.5 mm ジャック）などからのオーディオ入力。

③ **USB**

- USB ストレージデバイスを接続してオーディオメディアを再生します。
- この製品のソフトウェアをアップグレードするためにも使用します。

④ **HDMI ARC**

このポートは ARC HDMI 機能をサポートし、テレビの HDMI（ARC）入力に接続します。

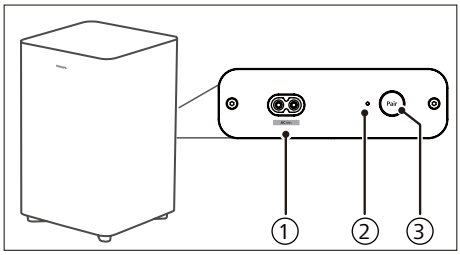
⑤ **Optical in（光入力）**

テレビまたはデジタル機器の光オーディオ出力に接続します。

⑥ **壁面ブラケットスロット**

ワイヤレスサブウーファー

ワイヤレスサブウーファーの概要については以下の通りです。



① **AC 入力～ソケット**
電源に接続します。

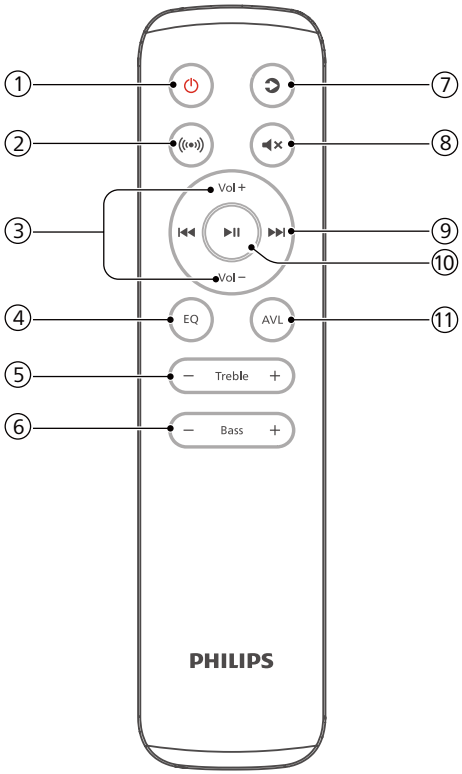
② **サブウーファーのインジケーター**
ワイヤレスサブウーファーのインジケーターに基づいてステータスを確認します。

LED の状態	ステータス
速い点滅	サブウーファーがペアリングモードです
点灯	接続／ペアリングに成功しました
ゆっくり点滅	ペアリングされていません

③ **［Pair（ペアリング）］ボタン**
長押しすると、サブウーファーのペアリングモードになります。このボタンは手動ペアリングにのみ使用されます。（ユニットの電源を［**ON（オン）**］にするとサウンドバーとサブウーファーは自動的にペアリングされるため、［**Pair（ペアリング）**］ボタンを押さないでください）

リモコン

このセクションでは、リモコンの概要について説明します。



① **⏻（スタンバイ - オン）**
- サウンドバーの電源をオン・スタンバイ状態にします。
- 電源オン状態で 8 秒間長押しすると、自動スタンバイ（15 分経過後に自動的にスタンバイ状態になる）が有効または無効になります。

② **（サラウンド）**
バーチャライザーのオン／オフを切り替えます。

③ **［Vol + / Vol -（音量 + ／音量 -）］（サウンドバーの音量）**
サウンドバーの音量を調節します。

④ **EQ**

- イコライザー（EQ）効果を選択します。
- 3 秒間長押しすると、ダイアログ拡張機能がオン／オフに切り替わります。

⑤ **Treble +/-（トレブル + ／ -）**

高音レベルを調整します。

⑥ **［Bass +/-（低音 + ／ -）］（サブウーファーの音量）**

サブウーファーの音量を調整します。

⑦ **（ソース）**

ボタンを押して、サウンドバーの入力ソースを選択します。

⑧ **（ミュート）**

ミュートまたは音量を戻します。

⑨ **／（前へ／次へ）**

USB / BT モードで前または次のトラックにスキップします。

⑩ **（再生／一時停止）**

USB / BT モードで再生・一時停止します。

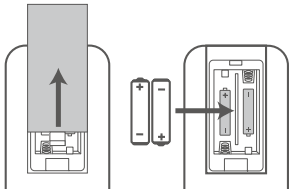
⑪ **AVL**

自動音量調節のオン／オフおよび夜間モード。

リモコンの準備

- 付属のリモコンを使用すると、離れた場所からでもユニットを操作できます。
- 有効範囲の 6 m（19.7 フィート）以内でリモコンを操作していても、ユニットとリモコンの間に障害物がある場合には、リモコンの操作ができなくなることがあります。
- 赤外線が発生する他の製品の近くでリモコンを操作している場合、または赤外線を使用した他のリモコン装置がユニットの近くで使用されている場合には、リモコンが正しく動作しないことがあります。逆に、他の製品側が正しく動作しないことがあります。

リモコンの電池交換



1 背面カバーを押した状態でスライドさせ、リモコンの電池収納部を開きます。

2 単 4 形電池 2 本（付属）を入れます。電池の「+」側と「-」側が、電池収納部に表示されている「+」側と「-」側に一致していることを確認します。

3 電池収納部のカバーを閉じます。

電池に関する注意事項

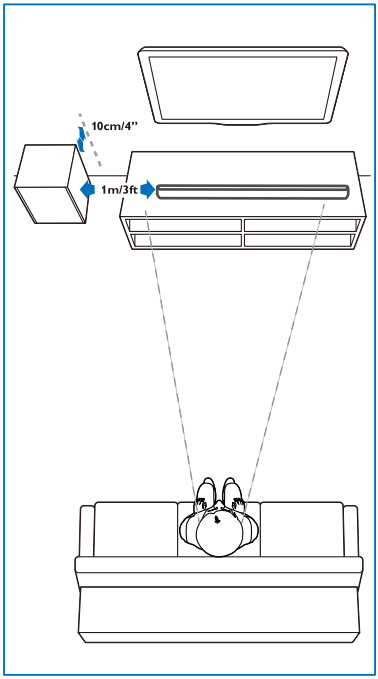
- 電池は必ずプラス極「⊕」とマイナス極「⊖」が正しい向きとなるように挿入してください。
- 同じタイプの電池を使用してください。タイプの異なる電池を一緒に使用しないでください。
- 充電式電池パックと非充電式電池パックのどちらも使用できます。ラベルの注意事項を参照してください。
- 電池カバーと電池を取り外すときには、爪を痛めないように注意してください。
- リモコンを落とさないでください。
- リモコンに何らかの衝撃が加わらないようにしてください。
- リモコンの上に水や液体をこぼさないでください。
- リモコンを濡れている物の上に置かないでください。
- リモコンは直射日光の当たる場所や、高温になる熱源の近くに置かないでください。
- リモコンを長期間使用しない場合は、腐食や電池の液漏れが発生し、怪我、物的損傷、火災などの原因となる可能性があるため、本体から電池を取り出しておいてください。

- 指定されたもの以外の電池は使用しないでください。
- 新しい電池を古い電池と一緒に使用しないでください。
- 充電式であることが確認できない電池は、絶対に充電しないでください。

設置

サブウーファーは、サウンドバーから少なくとも 1 m（3 フィート）、壁からは 10 cm 離して設置します。

最適な音響効果を得るには、下の図のようにサブウーファーを配置します。



壁面取り付け

注意

- 不適切な壁面取り付けは、事故、負傷、または損傷の原因となる可能性があります。お尋ねになりたい点がある場合は、お住まいの国のお客様情報センターにお問い合わせください。
- 壁面に取り付ける前に、壁がサウンドバーの重量を支えられることを確認してください。
- 壁面に取り付ける前に、サウンドバーの底部にあるゴム製の脚を取り外す必要はありません。ゴム製の脚は取り外すと元に戻すことができません。
- 壁面取り付けのタイプに応じて、適切な長さと直径のネジを使用してください。
- サウンドバーの背面にある USB ポートが USB デバイスに接続されているかどうかを確認してください。接続された USB デバイスが壁面取り付けに影響を与える場合は、適切なサイズの別の USB デバイスを使用する必要があります。

ネジの長さ／直径

推奨の壁面取り付け高さ

サウンドバーを壁面に取り付ける前に、まずテレビを取り付けることをお勧めします。テレビが事前に設置された状態で、テレビの底面から 50 mm（2.0 インチ）離れた壁面にサウンドバーを取り付けます。

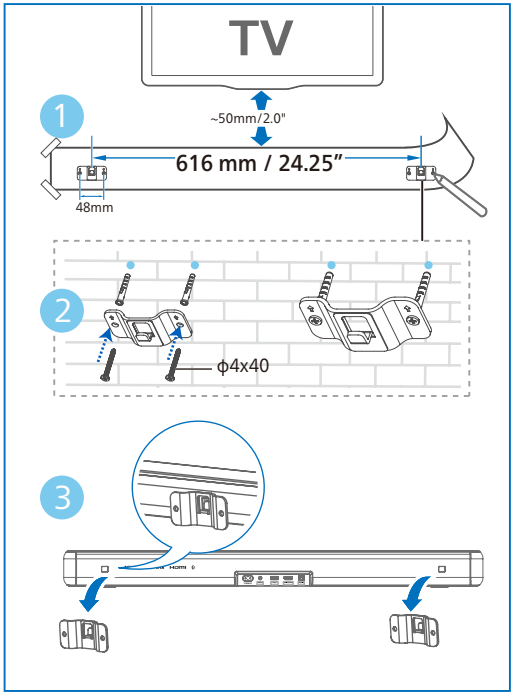
警告！

- けがを防止するため、本装置は設置説明書に従って床／壁面にしっかりと固定する必要があります。
- 推奨の壁面取り付け高さ：1.5 m 以下。

1 平行する 4 つの穴（壁のタイプに応じて直径 3 ～ 8 mm）を壁面に開けます。
   ↳ 穴間の距離は次のとおりです。616 mm ／ 24.25”
   ↳ 壁の正しい位置にドリルで穴を開けるために、付属の壁面取り付けテンプレートを使用できます。

2 ネジ（付属）とドライバー（付属していない）で壁に壁面取り付けブラケットを締め付けます。しっかりと取り付けられていることを確認します。

3 ユニットを壁面取り付けブラケットの位置まで持ち上げ、スロットにかみ合わせて取り付けます。



3 接続

このセクションでは、サウンドバーをテレビやその他の機器に接続してセットアップする方法について説明します。

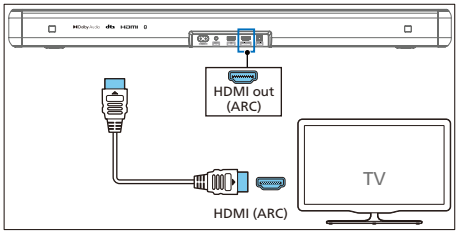
注意

- 識別番号および電源供給定格については、製品の背面または下部にある型式プレートを参照してください。
- 接続を確立または変更する前に、すべての機器が電源コンセントから外されていることを確認してください。

HDMI ARC への接続

HDMI ARC（オーディオリターンチャンネル）

サウンドバーは、ARC（オーディオリターンチャンネル）に準拠した HDMI に対応しています。テレビが HDMI ARC 対応であれば、HDMI ケーブルだけでサウンドバーからテレビ音声を再生できます。



1 テレビで HDMI-CEC 操作をオンにします。詳細については、テレビの取扱説明書を参照してください。
   - テレビの **HDMI ARC** コネクターのラベルが異なる場合があります。詳細については、テレビの取扱説明書を参照してください。

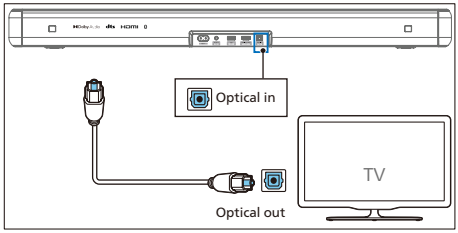
2 高速 HDMI ケーブルを使用して、サウンドバーの **HDMI ARC** コネクターをテレビの **HDMI ARC** コネクターに接続します。

注意

- テレビが HDMI-CEC および ARC 機能に対応している必要があります。HDMI-CEC および ARC をオンに設定する必要があります。
- HDMI-CEC と ARC の設定方法は、テレビによって異なる場合があります。ARC 機能の詳細については、テレビの取扱説明書を参照してください。
- HDMI ケーブルが ARC 機能に対応していることを確認してください。

光学系への接続

1 光ケーブルを使用して、サウンドバーの［**Optical in（光入力）**］コネクターをテレビまたはその他の機器の［**Optical out（光出力）**］コネクターに接続します。

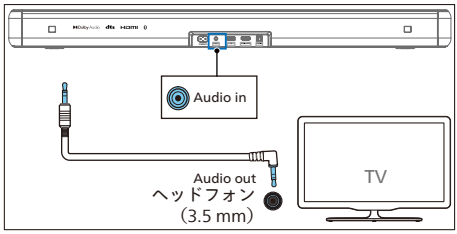


- ［**Spdif in（Spdif 入力）**］または［**Spdif out（Spdif 出力）**］と表示されているデジタル光コネクターもあります。

オーディオ入力への接続

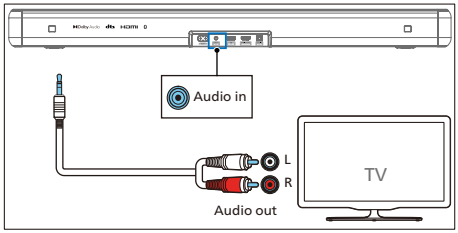
3.5mm オーディオケーブルを使用する

- 3.5 mm のオーディオケーブルを使用して、テレビのヘッドフォンソケットをサウンドバーの［**Audio in（オーディオ入力）**］ソケットに接続します。



3.5 mm RCA オーディオケーブルを使用する

- 3.5 mm RCA オーディオケーブルを使用して、テレビのオーディオ出力ソケットをサウンドバーの［**Audio in（オーディオ入力）**］ソケットに接続します。

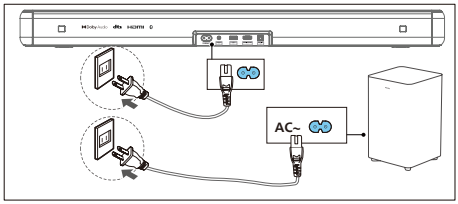


電源への接続

- AC 電源コードを接続する前に、他のすべての接続が完了していることを確認してください。
- 製品が損傷する危険があります！電源電圧が、ユニットの背面または底面に印刷されている電圧と一致していることを確認します。

1 主電源ケーブルをサウンドバーの **AC~** ソケットに接続し、次に主電源ソケットに接続します。

2 主電源ケーブルをサブウーファーの **AC~** ソケットに接続し、次に主電源ソケットに接続します。



注意

- 電源コードの数とプラグのタイプは地域によって異なります。

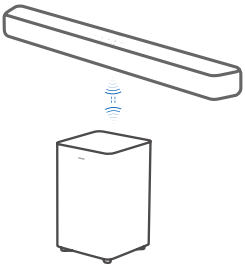
サブウーファーとのペアリング

ヒント

- サブウーファーは、サウンドバーから 6 m 以内のオープンな場所に設置してください。

自動ペアリング

サウンドバーとサブウーファーを主電源ソケットに接続し、ユニットまたはリモコンの ⏻ を押して、ユニットを［**ON（オン）**］モードに切り替えます。サブウーファーとサウンドバーが自動的にペアリングされます。



↳ ワイヤレスサブウーファーのインジケーターに基づいてステータスを確認します。

LED の状態	ステータス
速い点滅	サブウーファーがペアリングモードです
点灯	接続／ペアリングに成功しました
ゆっくり点滅	ペアリングされていません

ヒント

- 手動ペアリングを実行する場合以外は、サブウーファーの背面にある［**Pair（ペアリング）**］ボタンを押さないでください。

手動ペアリング

ワイヤレスサブウーファーから音声が聞こえない場合は、サブウーファーを手動でペアリングします。

1 サブウーファーとサウンドバーの両方のケーブルを主電源ソケットからいったん抜いて、3 分後に再度接続します。

2 サブウーファーの背面にある［**Pair（ペアリング）**］ボタンを 3 秒間長押しします。
↳ サブウーファーのインジケーターがすばやく点滅します。

3 サウンドバーまたはリモコンの ⏻ を押して、サウンドバーを［**ON（オン）**］にします。
↳ 正常に完了すると、サブウーファーのインジケーターが点灯します。

4 それでもインジケーターが点滅し続ける場合は、手順 1 ～ 3 を繰り返します。

ヒント

- サブウーファーは、サウンドバーから 6 m 以内のオープンな場所に設置してください（距離が近いほど確実に動作します）。
- サブウーファーとサウンドバーの間に物があれば取り除いてください。
- ワイヤレス接続が再度失敗する場合は、周辺に競合機器または強い干渉源（電子機器からの干渉など）がないか確認します。これらの競合機器または強力な干渉源を除去し、上記の手順を繰り返します。

4 サウンドバーの使用

このセクションでは、サウンドバーを使用して、接続された機器からオーディオを再生する方法について説明します。

作業を開始する前に

- クイックスタートガイドおよび取扱説明書に記載されている必要な接続を行います。
- サウンドバーを他の機器に合わせて正しいソースに切り替えます。

アプリのダウンロード

QR コードをスキャンするか、Apple App Store または Google Play で「**Philips Entertainment**」を検索して、アプリをダウンロードしてインストールします。

Download on the App Store
GET IT ON Google Play
Philips Entertainment

Philips Entertainment アプリでは、音量レベル、サウンドスタイル（EQ）、ダイアログ拡張、サラウンドサウンド、オート、音量調節、AV 同期、LED ライト、ソース選択などを設定できます。

電源のオン／オフ

- まずサウンドバーを主電源ソケットに接続すると、ユニットはスタンバイモードになります。
- リモコンまたはサウンドバーの ⏻ ボタンを押して、サウンドバーの［**ON（オン）**］または［**OFF（オフ）**］を切り替えます。
- サウンドバーを完全にオフにする場合は、主電源ソケットから主電源プラグを外します。

自動スタンバイ

- テレビまたは外部サウンドバーの接続が解除された（または USB、BT のファンクションビット再生が一時停止した）場合、または電源がオフになった場合、約 15 分後にサウンドバーは自動的にスタンバイモードになります。
- 自動スタンバイ（15 分経過後に自動的にスタンバイ状態になる）を有効または無効にするには、電源オン状態で ⏻ ボタンを 8 秒間長押しします。

注意

- HDMI（ARC）モードでは、オーディオ再生がないまま約 15 分経過すると、ネットワークスタンバイモードになります。
- AUX、USB、光学、Bluetooth モードでは、オーディオ再生がないまま約 15 分経過すると、ユニットは自動的にスタンバイモードになります。

モードの選択

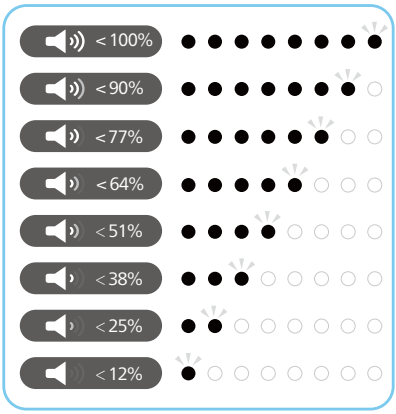
サウンドバーまたはリモコンの ➲（ソース）ボタンを繰り返し押して、［**HDMI ARC**］、［**BT**］、［**BT (LE Audio)**］、［**OPT**］、［**USB**］、［**AUX**］モードを選択します。

↳ 再生ソースを切り替えると、それに応じてフロントインジケーターが点灯します。

音量の調整

サウンドバーの音量を調整する

- 音量を調整するには、［Vol+/Vol-］（音量）を押します。
  - ↳ 音量を調整すると、インジケーターの明るさが増減します。以下の図に示す対応するライトの表示／点滅に従って、現在の音量レベルを決定します。



- 音声をミュートにするには、🔇（ミュート）を押します。
- 音声を元に戻すには、もう一度🔇（ミュート）を押すか、［Vol+/Vol-］（音量）を押します。

サブウーファーの音量を調整する

- サブウーファーの音量を調整するには、［Bass +/-］（サブウーファー）を押します。

トレブルレベルの調整

- 高周波数域（トレブル）を調整するには、［Treble +/-］ボタンを押します。

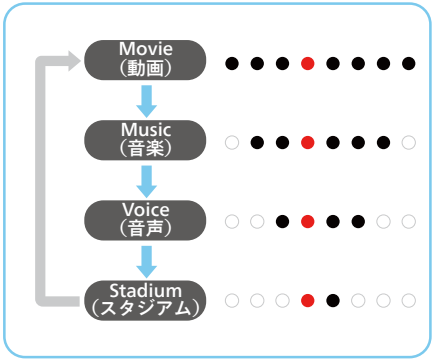
低音／トレブル	LED の状態
+5	○●●●●◎○○
+4	○●●●◎○○○
+3	○●●◎○○○○
+2	○●◎○○○○○
+1	○◎○○○○○○
0	●○○○○○○●
-1	○○○○○○◎○
-2	○○○○○◎●○
-3	○○○○◎●●○
-4	○○○◎●●●○
-5	○○◎●●●●○

イコライザー（EQ）効果の選択

ビデオや音楽に合わせて、あらかじめ定義されたサウンドモードを選択します。

1 リモコンの［EQ］ボタンを押して、希望のプリセットされたイコライザー効果を選択します。

2 ［EQ］ボタンを押してモードを切り替えます。
  - ↳ LED は 3 秒間点灯し、EQ モードの定義に従って現在の EQ モードを表示します。



LED 表示のオン／オフインジケーター

リモコンの 🔇（ミュート）ボタンを 5 秒間長押しすると、LED 表示が有効／無効になります。

↳ **OFF（オフ）**：いずれかのボタンを押すと、点灯した LED は通常の状態に戻ります。LED は 10 秒間のアイドリング後に自動的に消灯します。

↳ **ON（オン）**：点灯した LED は自動的に消灯しません。

ヒント

- スタンバイ中は、LED の表示がオフに設定されているとしても、スタンバイ LED がオンになります。

DTS Virtual X

DTS Virtual:X により、部屋の大きさ、レイアウト、スピーカーの構成に関係なく、多次元サウンドを楽しむことができます。

DTS Virtual:X テクノロジーは、DTS 独自の仮想の高さと仮想のサラウンド処理を特徴としており、あらゆるタイプの入力ソースやスピーカー構成から臨場感あふれるサウンド体験を実現します。

リモコンの ((•)) ボタンを押して、仮想化オンを有効または無効にします。

ステータス	LED の状態
ON	○○○●●○○○ (← →) （2 つの点灯 LED が中央から左右に移動）
OFF	●○○○○○○● (→ ←) （2 つの点灯 LED が左右から中央に移動）

- **ON（オン）**：このモードでは、上方向のスピーカーを使用しない場合に、仮想天井と仮想サラウンド処理機能のある DTS Virtual:X を使用して、3 次元の立体音響を実現します。
- **OFF（オフ）**：「DTS Virtual:X」を使用しません。

自動音量調整

［**AVL**］ボタンを押すと、自動音量調節の［**ON（オン）**］／［**OFF（オフ）**］または夜間モードを切り替えることができます。

ステータス	LED の状態
OFF	○○○●●○○○
ON	○○●●●●○○
NIGHT	○●●●●●●○

- **OFF（オフ）**：「自動音量調整」を使用しません。
- **ON（オン）**：さまざまなソースやコンテンツのタイプにリアルタイムで反応して、音量を一定に維持します。
- **NIGHT（夜間）**：あらゆるソースとコンテンツのタイプに対して一定の音量を維持し、音声や会話が強調されるようにして、静かなリスニング環境で聞き取りやすくなるようにします。

Bluetooth 機器から再生

サウンドバーを Bluetooth 機器 (iPad、iPhone、iPod touch、Android、ノート PCなど) に接続し、機器に保存されているオーディオファイルをサウンドバーから聴くことができます。

1 サウンドバーの ✱ ボタンまたはリモコンの ⟲（ソース）を押して、BT（Bluetooth）モードを選択します。

↳ BT インジケーターがブルーに点滅します。

2 Bluetooth 機器で Bluetooth をオンにし、**Philips TAB5309** を検索して選択し、接続を開始します（Bluetooth を有効にする方法については、

Bluetooth 機器の取扱説明書を参照してください）。

↳ 接続中は、BT インジケーターがブルーに点滅します。

3 サウンドバーから音声ガイドが聞こえるまで待ちます。

↳ 正常に接続されると、BT インジケーターはブルーに点灯します。

4 Bluetooth 機器でオーディオファイルまたは音楽を選択して再生します。

- 再生中に着信が入ると音楽は一時停止します。
  通話が終了すると音楽は再生されます。
- Bluetooth 機器が AVRCP プロファイルに対応している場合は、リモコンで ⏮ ／ ⏭ を押してトラックにスキップしたり、▶II を押して再生を一時停止／再開したりできます。

お使いのスマートフォンが LE Audio に対応している場合は、この新機能を体験することができます。

1 サウンドバーの ✱ ボタンまたはリモコンの ⟲（ソース）を押して、[**BT (LE Audio)**] モードを選択します。

↳ BT インジケーターがホワイトで点滅します。

2 LE Audio 機器で、設定を開き、Bluetooth をオンにし（LE Audio 機器で LE Audio 機能が有効になっていることを確認します）、**Philips TAB5309-LEA** を検索して選択し、接続を開始します。

LED	ステータス	名前
ブルー	BT	Philips TAB5309
ホワイト	BT (LE Audio)	Philips TAB5309-LEA

Bluetooth を終了するには、次のようにします。

- ユニットを別のソースに切り替えます。
- Bluetooth 機器から機能を無効にします。または、Bluetooth 機器を最大動作範囲外に置きます。音声ガイドが出された後、Bluetooth 機器がユニットから切断されます。
- サウンドバーの ✱ ボタンを長押しします。

注意

- 障害物のないオープンな場所サウンドバーと Bluetooth 機器の最大動作範囲は約 10 m（30 フィート）です。
- すべての Bluetooth 機器との互換性が保証されているわけではありません。
- 機器とサウンドバーの間に障害物があると、音楽のストリーミングが中断される場合があります。たとえば、壁、機器を覆う金属製のケース、または同じ周波数で動作する近くにある他の機器などです。

外部機器での再生

サウンドバーがテレビまたはオーディオ機器に接続されていることを確認します。

1 サウンドバーまたはリモコンの ⟲（ソース）ボタンを繰り返し押して、[**HDMI ARC**]、[**OPT**]、[**AUX**] モードを選択します。

↳ サウンドバーのインジケーターライトに、現在使用中のモードが表示されます。

2 オーディオ機器を直接操作して再生機能を有効にします。

3 + ／ -（音量）ボタンを押して、音量を希望のレベルに調整します。

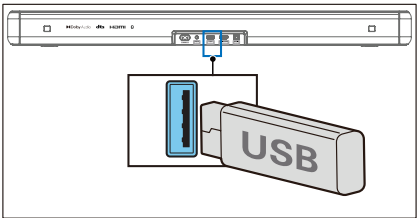
注意

- 光学／ HDMI ARC モードでは、ユニットからの音声出力がないときには、ソース機器（テレビ、DVD、Blu-ray プレーヤーなど）で PCM またはドルビーデジタル信号出力を有効にすることが必要になる場合があります。

USB を使用したオーディオの再生

MP3 プレーヤーや USB フラッシュメモリーなどの USB ストレージデバイスでオーディオを楽しむことができます。

1 USB デバイスを挿入します。



2 サウンドバーまたはリモコンの ➲（ソース）ボタンを繰り返し押して、USB モードを選択します。

3 再生時には次の操作ができます。

ボタン	操作
▶II	再生の開始、一時停止、または再開
I◀◀	前のトラックにスキップ
▶▶I	次のトラックにスキップ

注意

- 本製品は、特定のタイプの USB ストレージデバイスと互換性がない場合があります。
- USB 延長ケーブル、USB ハブ、または USB 多機能カードリーダーを使用すると、USB ストレージデバイスが認識されない場合があります。
- ファイルの読み取り中に USB ストレージデバイスを取り外さないでください。
- システムは、最大 128 GB のメモリーを持つ USB デバイスをサポートできます。
- このシステムは MP3 ／ WAV ／ FLAC を再生できます。
- USB ポートのサポート：5V ⎓ 500mA。

工場出荷時の状態にリセット

機器をデフォルト設定にリセットします。

- サウンドバーの電源をオンにして、＋ボタンと ー ボタンを同時に 8 秒間長押しします。
  ↳ すべての LED が 5 秒間点灯し、スタンバイ LED が赤色に点灯します。

項目	デフォルト設定
EQ	Movie（動画）
Master Volume（主音量）	10
Subwoofer Volume（サブウーファー音量）	0
Treble（トレブル）	0
Surround（サラウンド）	OFF（オフ）
Auto Volume（自動音量）	OFF（オフ）
Night（夜間）	OFF（オフ）
Source（ソース）	HDMI-ARC
BT pairing info（BT ペアリング情報）	Clear（クリア）
AV SYNC（AV 同期）	0
DISPLAY（表示）	ON（オン）
Auto Standby (Auto Power Down)（自動スタンバイ（自動電源オフ））	ON（オン）
Dialogue enhancement（ダイアログ拡張）	OFF（オフ）

5 製品仕様

注意

- 仕様および設計は予告なく変更されることがあります。

Bluetooth ／ワイヤレス

Bluetooth プロファイル	A2DP、AVRCP
Bluetooth バージョン	V 5.4
Bluetooth 周波数範囲／送信機電力（EIRP）	2402 ～ 2480MHz < 10dBm
2.4G 無線周波数範囲／送信機電力（EIRP）	2402 ～ 2480MHz < 10dBm

アンプ部

合計	RMS 120W @THD < =10% 最大 240 W

サウンドバー

電源	100 ～ 240V、50/60Hz
消費電力	25 W
スタンバイ時の消費電力	標準スタンバイモード：0.50 W 未満 ネットワークスタンバイモード：2.0 W 未満
周波数応答	150Hz ～ 20KHz
スピーカーのインピーダンス	8Ω x 2
USB ダイレクトバージョン	2.0 フルスピード
USB	5V ⎓ 500mA
寸法 （幅 x 高さ x 奥行き）	766 x 67.3 x 91 mm
重量	1.6 kg
動作温度	0°C ～ 45°C

サブウーファー

電源	100 ～ 240V、50/60Hz
消費電力	20 W
スタンバイ時の消費電力	< 0.50 W
周波数応答	40Hz ～ 150Hz
インピーダンス	4Ω
寸法 （幅 x 高さ x 奥行き）	195 x 315.5 x 195 mm
重量	3.03 kg
動作温度	0°C ～ 45°C

リモコン

距離／角度	6m/30°
電池タイプ	単 4 形（1.5V x 2）

対応オーディオ形式

HDMI ARC	LPCM 2ch、LPCM 5.1ch、Dolby Digital、Dolby Digital plus、DTS Digital surround 5.1
光学	LPCM 2ch、LPCM 5.1ch、Dolby Digital、DTS Digital surround 5.1
Bluetooth	SBC ／ LC3
USB	MP3 ／ WAV ／ FLAC

6 トラブルシューティング

警告

- 製品のカバー部分は絶対に取り外さないでください。感電する恐れがあります。

保証を有効にしておくために、製品を決して自力で修理しようとしないでください。

本製品の使用で問題が起きている場合には、修理を依頼する前に次の点を確認してください。それでも問題が解決しない場合は、以下でサポートを依頼してください。www.philips.com/support

メインユニット

メインユニットのボタンが機能しない。

- 電源から数分間電源ケーブルを取り外し、それからもう一度接続します。

電源が入らない

- AC コードが正しく接続されていることを確認します。
- AC コンセントに電力が来ていることを確認します。
- リモコンまたはサウンドバーの ⏻ ボタンを押して、サウンドバーをオンにします。

サウンド

スピーカーから音が出ない。

- サウンドバーのオーディオケーブルをテレビやその他の機器に接続します。ただし、次の場合は、別のオーディオ接続は必要ありません。
  - サウンドバーとテレビが HDML ARC 接続によって接続されている。
  - 機器がサウンドバーの HDMI 入力コネクターに接続されている。
- リモコンで、正しいオーディオ入力を選択します。
- サウンドバーがミュートになっていないことを確認します。

音やエコーが歪んでいる。

- 本製品でテレビから音声を再生している場合は、テレビがミュートになっていることを確認してください。

ワイヤレスサブウーファーから音が出ない。

- サブウーファーをメインユニットに手動で接続します。
- 音量を上げます。リモコンまたはサウンドバーの「+」（音量を上げる）を押します。
- いずれかのデジタル入力を使用しているときに音声が出ない場合には、次のようにします。
  - TV 出力を PCM に設定してみる。
  - Blu-ray ／その他のソースに直接接続する。
  - 一部のテレビがデジタルオーディオに対応していない。
- テレビが可変オーディオ出力に設定されている可能性があります。オーディオ出力設定が「VARIABLE（可変）」ではなく、「FIXED（固定）」または「STANDARD（標準）」に設定されていることを確認します。詳細については、テレビの取扱説明書を参照してください。
- Bluetooth を使用している場合は、ソース機器で音量が上げられており、ミュートされていないことを確認します。

Bluetooth

機器をサウンドバーに接続できない。

- 機器がサウンドバーに必要な互換性のあるプロファイルに対応していません。
- 機器の Bluetooth 設定が有効になっていません。有効にする方法については機器の取扱説明書を参照してください。
- 機器を正しく接続し直してください。

- サウンドバーが別の Bluetooth 機器に接続されています。Bluetooth 設定を解除してから再接続をしてください。

接続された Bluetooth 機器からのオーディオ再生の品質が良くない。

- Bluetooth の受信状態が良くありません。機器をサウンドバーの近くに移動させるか、機器とサウンドバーの間に障害物があればそれを取り除きます。

Bluetooth 機器でユニット名が見つからない。

- Bluetooth 機器で Bluetooth 設定が有効になっていることを確認します。
- ユニットと Bluetooth 機器を再度ペアリングします。

リモコンが機能しない

- 再生コントロールボタンを押す前に、まず正しいソースを選択してください。
- リモコンとユニットの距離をさらに近づけます。
- 図に示すように、電池を正しい極性（+ ／ -）にして挿入します。
- 電池を交換します。
- リモコンをユニット前面のセンサーにまっすぐ向けて操作します。

サブウーファーがアイドル状態になっているか、サブウーファーのインジケーターが点灯しない

- 電源ソケットから電源コードを抜き、3 分後にもう一度電源コードを接続して、サブウーファーをリセットします。

7 商標

Adopted Trademarks HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interface、HDMI トレードドレス、および HDMI ロゴは、米国およびその他の国における HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または登録商標です。

Dolby、Dolby Audio、およびダブル D 記号は、Dolby Laboratories Licensing Corporation の登録商標です。

Dolby Laboratories からのライセンスを受けて製造されています。

Bluetooth® のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、MMD Hong Kong Holding Limited によるこれらの商標の使用はライセンスを受けています。その他の商標および商標名は、それぞれの所有者のものです。

DTS の特許については、http://patents.dts.com を参照してください。DTS, Inc. または DTS Licensing Limited からのライセンスを受けて製造されています。DTS、Digital Surround、Virtual:X、および DTS ロゴは、米国およびその他の国における DTS, Inc. の登録商標または商標です。© 2021 DTS, Inc. ALL RIGHTS RESERVED.

8 保証書

保証書

品名	Philips サウンドバー
品番	TAB5109/11
保証期間	お買い上げ日より 12 ヶ月間
対象部分	本体
お買い上げ日	年　月　日
お客様	ご住所　〒
	お名前
	電話番号
販売店	販売店名・住所・電話番号

カスタマーサービスについて

お困りの場合は、お電話や商品ページのお問い合わせ
フォームでのお問い合わせを承っております。

株式会社RichGo-Japan

〒 590-0012
大阪府堺市堺区浅香山町3丁9番11号
【TEL】0120-215-625 Email: cs_team_1@richgo.co.jp
【受付時間】10:00~12:00 / 13:00~17:00（土日祝・年末年始を除く）

仕様は予告なく変更されることがあります。

最新のアップデートとドキュメントについては、以下を参照してください。
www.Philips.com/support

Philips および Philips Shield のエンブレムは Koninklijke Philips N.V. の登録商標であり、ライセンスを受けて使用されています。

本製品は MMD Hong Kong Holding Limited またはその関連会社の責任において製造され、販売されています。MMD Hong Kong Holding Limited は、本製品に関する保証者です。

TAB5309RE_UM_JA_V1.1_20241029